

§ はじめに

- ・教会への招き クリスマンへの招き
- ・私の場合

§ 目的 “イエス様に招かれる喜びを再確認し、感謝する”

§ 内容

- ・聖書箇所：ルカ 5：27-32
- ・3つのポイント ①イエス、レビを招かれる 5：27-28
- ②食事の席を設けるレビ 5：29-30
- ③イエスは、罪人を招くために来られた 5：31-32

§ 解説

<文脈・背景>

①イエス、レビを招かれる (5：27-28)

- 1.この後 (27節)
- 2.収税所にすわっているレビ (27節)
- 3.イエスの招き (27節)
- 4.イエスに従うレビ (28節)

②食事の席を設けるレビ (5：29-30)

1. 大ぶるまい (29節) ==>喜びのあまりの気持ちが表現されている
- 2.食卓 (29節)
- 3.パリサイ人たちの詰問 (30節)

③イエスは罪人を招くために来られた (5：31-32) <==イエスの答え

1. 医者を必要とするのは病人 (31節)
- 2.正しい人でなく罪人を招くため (32節)
3. 罪人を悔い改めさせるため (32節)
 - ・究極：イエス様の十字架 イエス様の愛
 - ・太陽と北風

<例話>

§ 適用

①レビのように自分の罪深さを認識する=病人としての自覚を持つ

1. 常に神に目を向けているか
- 2.自覚症状をもつ <==神の目から自分を見つめる

<例話>

②こんな罪人の自分を招いてくださるイエス様に感謝し従う

1. 私たちにとっての従うとは？ レビのようにすべてを捨てる？
- 2.イエス様から招かれた喜びの食卓につく
 - 使徒 2:46
 - 教会の交わり
 - 聖餐式 ‘Holy Communion’ (聖なる神との交わり)
 - 例話

§ 締めくくりのみことば

- ・黙示録 3：20 見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。